指導事項・言語活動例 教材名	A話すこと・聞くこと								B書くこと									
	指導事項					言語活動例			指導事項						言語活動例			
	ア　関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。	イ　相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。	ウ　相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。	エ　話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。	オ　互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。	ア　出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。	イ　学級全体で話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。	ウ　図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。	ア　関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。	イ　文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。	ウ　書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。	エ　文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。	オ　文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。	カ　書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。	ア　身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりすること。	イ　疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。	ウ　収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。	エ　目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと。
よく聞いて，じこしょうかい			○	◎														
どきん																		
きつつきの商売									•					•				
国語辞典のつかい方																		
漢字の音と訓																		
春の楽しみ									○									
よい聞き手になろう（きちんとつたえるために／こそあど言葉）	•	○		◎		★												
漢字の広場①													•					
言葉で遊ぼう／こまを楽しむ											•							
俳句を楽しもう																		
気になる記号（符号など）									◎	○				◎		★		
漢字の広場②													•					
たのきゅう																		
夏の楽しみ									○									
もうすぐ雨に																		
「ありがとう」をつたえよう											◎	◎						★
漢字の広場③													•					
本を使って調べよう／里山は，未来の風景（本の分類表）																		
わたしと小鳥とすずと／山のてっぺん																		
つたえよう，楽しい学校生活（インタビュー）	○	•	•		◎		★											
へんとつくり																		
ローマ字																		

C読むこと											伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項												
指導事項						言語活動例					ア伝統		イ言葉の特徴やきまり								ウ文字（漢字）		
ア　内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。	イ　目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。	ウ　場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。	エ　目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。	オ　文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。	カ　目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。	ア　物語や詩を読み、感想を述べ合うこと。	イ　記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用すること。	ウ　記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合うこと。	エ　紹介したい本を取り上げて説明すること。	オ　必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと。	ア　易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること。	イ　長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。	ア　言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。	イ　漢字と仮名を用いた表記などに関心をもつこと。	ウ　送り仮名に注意して書き、また、活用についての意識をもつこと。	エ　句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書くこと。	オ　表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解すること。	カ　表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けること。	キ　修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。	ク　指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと。	ア　第３学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。	イ　第３学年及び第４学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。	ウ　漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつこと。
													•										
◎													•										
◎		○											•										
															○			◎					
															•							◎	
																	◎						
													•							○			
																						◎	
	◎		○	○				★					•										
											◎												
																○							
																				•		◎	
		◎															•						
																	◎						
		○		◎		★											•						
													•										
																				•		◎	
					◎		★			★			•										
•				◎		★							•										
													•										
																							◎
																					◎		

指導事項・言語活動例 教材名	A話すこと・聞くこと								B書くこと									
	指導事項					言語活動例			指導事項						言語活動例			
	ア 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。	イ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。	ウ 相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話すこと。	エ 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。	オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。	ア 出来事の説明や調査の報告をしたり、それらを聞いて意見を述べたりすること。	イ 学級全体で話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。	ウ 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。	ア 関心のあることなどから書くことを決め、相手や目的に応じて、書く上で必要な事柄を調べること。	イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。	ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。	エ 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。	オ 文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。	カ 書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについて意見を述べ合うこと。	ア 身近なこと、想像したことなどを基に、詩をつくったり、物語を書いたりすること。	イ 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。	ウ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。	エ 目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書くこと。
ちいちゃんのかげおくり																		
漢字の広場④													•					
修飾語																		
秋の楽しみ									○									
すがたをかえる大豆（絵や写真を使ってせつめいする）																		
食べ物のひみつを教えます										○	◎						★	
短歌を楽しもう																		
漢字の意味																		
三年とうげ																		
たから島のぼうけん										◎	○		•		★			
漢字の広場⑤													•					
言葉を分類する													○	•				
冬の楽しみ									○						★			
雪／ゆき／雪														•				
ありの行列																		
しりょうから分かる，小学生のこと（見せながら話すときには）	•	○	◎					★										
コンピュータのローマ字入力																		
カンジーはかせの音訓かるた																		
ことわざについて調べよう									◎		○	•	◎			★	★	
漢字の広場⑥													•					
モチモチの木														•				
わたしの三大ニュース									◎		○							

C読むこと											伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項												
指導事項						言語活動例					ア伝統		イ言葉の特徴やきまり								ウ文字（漢字）		
ア　内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。	イ　目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。	ウ　場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。	エ　目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。	オ　文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあることに気付くこと。	カ　目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読むこと。	ア　物語や詩を読み、感想を述べ合うこと。	イ　記録や報告の文章、図鑑や事典などを読んで利用すること。	ウ　記録や報告の文章を読んでまとめたものを読み合うこと。	エ　紹介したい本を取り上げて説明すること。	オ　必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読むこと。	ア　易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること。	イ　長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。	ア　言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。	イ　漢字と仮名を用いた表記などに関心をもつこと。	ウ　送り仮名に注意して書き、また、活用についての意識をもつこと。	エ　句読点を適切に打ち、また、段落の始め、会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書くこと。	オ　表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解すること。	カ　表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けること。	キ　修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。	ク　指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使うこと。	ア　第３学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、また、ローマ字で書くこと。	イ　第３学年及び第４学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。	ウ　漢字のへん、つくりなどの構成についての知識をもつこと。
		◎	•	○		★							•										
																						◎	
																			◎				
																	◎						
•	◎		○							★								•					
																		•					
											◎												
														◎								○	
		○		◎					★								•						
																•							
																						◎	
																	◎						
																	◎						
•					◎					★			○										
	○		◎	•					★											○			
																				•			
																					◎		
															•							◎	
												◎	•				•	○					
																			○			◎	
		◎	•	○		★							•										
																•							